



—東地中海地域ニュース—

リビア：G8 サミットでのカダフィ指導者スピーチ

(7月12日付 JANA 通信)

7月12日付、JANA 通信は、10日のG8サミットにおけるカダフィ指導者のスピーチ内容を報じている。概要は以下の通り

1. AU 機構

AU は AU 委員会を AU 機構へ強化する事を決定した。

2. アフリカ

これまでのアフリカに関する G8 の決議には、明確な結果が伴わなかった。アフリカではその豊富な資源を開発するため、海外からの投資を必要としている。チャド湖、インガダム、ナイル・デルタなどに投資が必要である。アフリカは、かつて米国が欧州に行ったマーシャル・プランと同様の復興政策を必要としている。

3. アフリカへの補償

アフリカから欧州への移民は、欧州に搾取されたアフリカの富を取り返している。アフリカからの移民を拒否したいのなら、アフリカの富を返すか、補償が必要である。欧州は、アフリカ大陸での核実験や、奴隷制度による損害を補償しなければならない。

4. ソマリアの海賊

ソマリアの海賊は、海産資源の搾取に反応して生じたものである。

5. リビア・スイス間関係

スイスは国ではなく、イタリア人、フランス人及びドイツ人で構成される国際マフィアであり、イタリア、フランス及びドイツがこれらの国民に責任を持つべきである。国際テロと戦うためには、スイスを解体してその資金源を断つべきである。

6. 核開発

全ての国は、核の平和利用の権利を持つ。

7. 中東和平

中東和平の実現のためには、パレスチナ難民が帰還し、イスラエルの大量破壊兵器が廃棄された上で、全ての人が平等に暮らす民主国家を樹立する必要がある。

8. その他

人工大運河計画に対する支援及び大量破壊兵器計画を放棄した事に対する見返りが得られるべき。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799